

平成28年度第2回青森市子ども・子育て会議（会議概要）

- 1 開催日時 平成29年2月16日（木）18:00～19:00
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター3階 大会議室
- 3 出席委員 内海隆 会長、天内博久 委員、一戸倫子 委員、伊藤えり子 委員、
（13名） 今村良司 委員、長内雅子 委員、工藤協志 委員、今一志 委員、
坪谷輝子 委員、成田綾子 委員、沼田久美 委員、橋本歩 委員、
宮崎秀一 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 健康福祉部長 能代谷潤治
健康福祉部次長 舘山新
健康福祉部青森市保健所副所長健康づくり推進課長事務取扱 山口朋子
子育て支援課長 鹿内利行
子どもしあわせ課長 成田光義
浪岡事務所健康福祉課長 花田清志、子育て支援課副参事 泉澤豊
子どもしあわせ課副参事兼子ども支援センター所長 高坂道子
子育て支援課主幹 川村拓、主幹 駒ヶ嶺祐
子どもしあわせ課主幹 山崎真治
子育て支援課主査 川浪昭仁、主事 高野博孝、主事 石岡洸希
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 健康福祉部長あいさつ
 - (3) 議事
特定教育・保育施設の確認に係る利用定員について
 - (4) 閉会
- 7 議事概要
特定教育・保育施設の確認に係る利用定員について
事務局から資料1について説明。
質疑
 - 委員 園の名称は、施設に確認した上で決定されているのか。
 - 事務局 名称については、施設に確認をしている。

- 委員 今回申請した利用定員は、施設の状況に応じて今後変更は可能か。
- 事務局 可能である。
- 委員 申請前の幼稚園の定員と比較して、今回申請している1号認定（幼稚園部分）の定員が大幅に下がっている施設があるが、大丈夫か。
- 事務局 1号認定（幼稚園部分）の利用人数は減少傾向であるため、今回申請いただいている定員で問題はない。
- 委員 認定こども園において、1号認定（幼稚園部分の定員）が少数の施設があるが、教育環境は健全と言えるのか。
- 事務局 認定こども園においては、幼稚園部分・保育所部分の子どもが同じクラスで教育を受けるため、問題はない。
- 委員 幼稚園の定員は減少傾向とのことだが、その空いた部分において一時預かり等で、子どもの居場所を増やしているのか。
- 事務局 いずれの幼稚園においても幼稚園型の一時預かりを行っており、今後も継続してほしい。
- 委員 企業主導型保育による子どもの受入は、確保方策に含めるのか。
- 事務局 子ども・子育て支援事業計画の見直しの際に、確保方策にどのように反映させるかをお示しした上で、決めて参りたい。

異議がなく、原案どおり可決された。

その後、事務局から参考資料1・2について説明

意見

- 委員 0歳児の子どもを施設に預ける傾向が多くなっている。年度の途中で入れられる方は、なかなか入所できない場合どうしているのかと思っていました。
- 委員 0歳の入所に関連して、子どもを施設に預けて、仕事で活躍したり、リフレッシュすることは良いことだと思うが、一方で、0歳の子どもを全て預ける形でいいのか、という疑問もある。お預かりするのは命なので、信頼関係を築く間もなく、若い子どもを預かるのは避けたい。皆で協力して、受入のバランスを考えなければいけないと思う。
- 委員 保護者を含めて、子育てに対しての理解を深めてもらう啓発等が必要だと思う。

8 閉会